

# おかだ耕一

後援会会報

通算 No.19

2003.7.15

http://www.ko1.org/ E-mail:okada@ko1.org

発行/おかだ耕一後援会事務局

豊田市宝来町4-758-141

TEL・FAX/88-9194(岡田自宅)

## 変革する勇気と責任をもって 2期目も挑戦し続けます!



梅雨明けが待ち遠しい季節になりました。地域の皆様、後援会の皆様には、日ごろからおかだ耕一の活動に対しましてご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

おかげさまで4月27日執行の市議会議員選挙には、多くの皆様のお世話になり3,771票という大変重みのある票をいただき、2期目の当選をさせていただきました。ありがとうございました。

これからも既成組織や政党に縛られることなく、常に市民の皆さんの声を大切に無所属市民派議員として頑張っております。さて、改選後、初の定例会となる豊田市議会6月定例会が、6月13日から25日までの会期で開催され、個人情報保護条例など重要な案件が審議されました。また、学校2学期制の導入や市町村合併など豊田市を取り巻く環境は大きく変化しております。今後いろいろな問題に対しまして皆さんと一緒に考え、活動したいと考えております。どうか今後とも、変わらぬご支援、ご指導よろしく願いいたします。

豊田市議会議員 岡田 耕一

## おかだ耕一に、あたたかいご理解・ ご支援をいただいているみなさまへ



おかだ耕一くんが、2期目のきびしい選挙戦でみごと再選をはたして早や3ヵ月、その節はほんとうにあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

たいへん遅くなりましたが、おかだ耕一くんに熱いご支援をいただいたみなさまに、ひとことお礼を申し上げます。おもえば当時、どのメディアの情報を見ても、おかだ耕一は苦戦・あぶないのコメントばかり。そのような状況下、みなさまのご支援のみを頼りに、ひたすらがんばり通してまいりました。そして、見事バンザイのよるこびを分かち合ったことを、つい昨日のように思いおこす今日このごろです。おかだ耕一くんは、2期目の議会でも早々と活発な活動を開始しており、ほんとうにたのしいかぎりです。こうしておかだ耕一くんが積極的な議会活動を展開できるのも、ひとえにみなさまの力強いご支援のたまものです。なにより、おかだ耕一くんは、若さとパワーがあります。彼の研究熱心と周到な解析にもとづく議会での建設的な発言は、他の議員の追従をゆるさず、あらゆる機会が高い評価を得ていることは、衆目の一致するところであります。このように研究熱心な彼は、この2期目も必ずやみなさまの期待にこたえ、ますます成長し不動の地位を築いてくれるものと確信します。今後とも、みなさまのあたたかいご支援、ご指導をせつにお願いし、誠に簡単ではありませんが、お礼に替えさせていただきます。

おかだ耕一選対本部長 中田重信

### 平成15年度議会内役職

教育社会委員会 委員  
総合交通研究特別委員会 委員  
議会活性化特別委員会 委員  
市議会情報公開調整委員会 委員  
豊田加茂広域市町村圏事務処理組合議会 議員

5月臨時会、6月定例会におきましてこれらに選任されました。今年1年頑張っております。

## 市民クラブから新政クラブへ

### 新会派結成について

おかだ耕一議員(2期)は、篠田議員、外山議員とともに新たな会派、新政クラブ(しんせいくらぶ)を結成。新政クラブは、特定政党や既成組織に立脚せず、市民の立場、市民の目線で考え、行動する無所属市民派議員として「いいものはいい、悪いものは悪い」と、はっきり主張する「健全な批判・提言勢力」を目指している。また、「予算案を含む各議案、請願、陳情、意見書の賛否については、一つ一つに十分な議論をしながら、会派拘束はせず、最終的には各議員の意思を尊重する」という議員と会派の責任を明確にしている。

まず、議会改革、行財政改革を目指す会派として自ら範を示す第一歩として、今後、政務調査費を使っての視察には、グリーン車を使わないことを申し合わせた。

- 代表 篠田忠信(7期)
- 副代表 外山雅崇(6期)
- 幹事長 岡田耕一(2期)



## 「おかだ耕一市政報告会」にご参加ください

日時:8月2日(土)午後2時より(午後1時30分より受付)

会場:高橋コミュニティセンター

参加費:男性2,000円 女性1,000円

内容:第1部/市政報告会 第2部/懇親会

おかだ耕一後援会・岡田耕一友の会では、上記のとおり「おかだ耕一市政報告会」を開催します。豊田市には、周辺町村との合併問題、教育改革、子育て支援や高齢者福祉事業等、取り組むべき課題が山積しております。そこでおかだ耕一議員が、2期目の冒頭に当たり、現状の豊田市の報告と今後、豊田市がどうあるべきか、お話いたします。

第2部では、第1部の市政報告や皆さんにお世話になりました選挙戦のことなど、皆さんと一緒に食べて飲んで語らう時間を設けております。

どうか、大勢の皆さんに参集いただき、2期目のおかだ耕一を励まし、お力を与えて下さいませよう、お願い申し上げます。

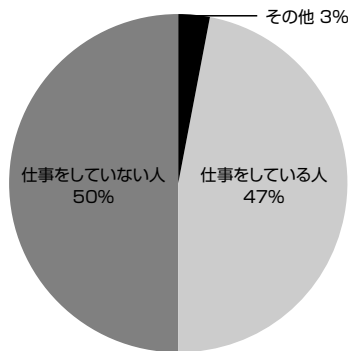
おかだ耕一後援会・岡田耕一友の会役員一同

※ご参加いただけます方は、準備の関係上7月28日までに下記までご連絡下さい。ご連絡先/中田重信 88-4390 田中弘美 88-8755

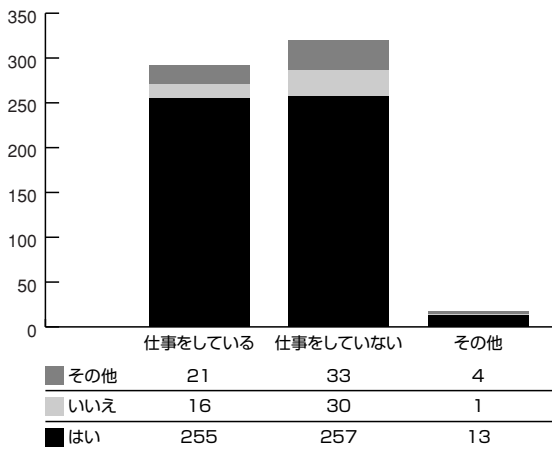
おかだ耕一議員は、6月定例会の一般質問で、以前から問題提起していた乳幼児の健康支援一時預かり事業の1つである病児・病後児保育の早期実施や幼稚園、

病後児保育とは、保育園等に通っているお子さんが、病気回復期にあるが、保護者が勤務等の都合により家庭で育児をおこなうことができない場合に市長が指定した専用施設において看護師、保育士が保育にあたるもの。実施場所が病院、診療所の場合は、病氣中であっても受け入れて良いため、病児保育、病中保育と呼んで区別することが多い。

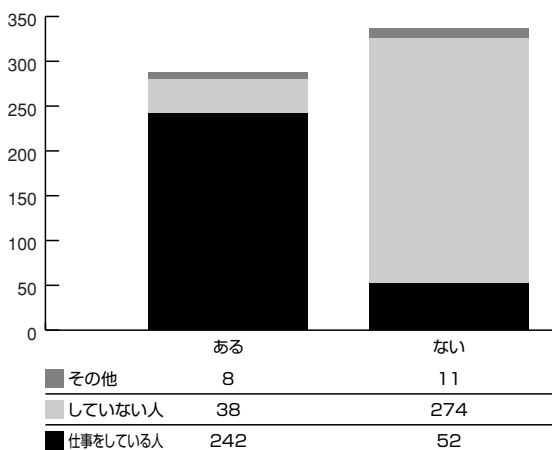
### 現在、仕事をしていますか？



### 病児・病後児保育施設の早期開設は必要か？



### お子さんの看病で仕事を休んだことは？



●保育園併設型の病後児保育室

保育園の民間移管計画について質問した。

まず、岡田議員は、今回の質問にあたり、実際、病児・病後児保育にどのく

らいのニーズがあるのか、この問題に関心を持っておられる保護者の皆さんと協力して、アンケート調査を行い、現状を把握。また、市内の小児科医の皆さんにもアンケートをお願いし、貴重な意見を得ている。結果の一部は、別表の通り。それらを参考に今回の質問に臨んだ。

まず、「病児保育について具体的にどこまで検討されているか、また、医師会、各診療所や移転新築する加茂病院への働きかけ」について質問した。それに対して社会部長は、「現時点では、病院等から相談もない状況。まだ検討の段階に至っていない。今後、申し出があった場合には、保育事業の委託や補助制度の創設を検討する。」と非常に消極的な答弁であった。

また、岡田議員の「市として地域医療センターや子育て総合支援センターへの併設の考えはないか」という質問には、「本年度、児童育成計画の策定作業の中で実施する市民意向調査の結果、市民のニーズが高く、多くの利用が見込まれるのであれば、医療機関に対して病児保育の実施を働きかけていく」と答弁。これに対して、岡田議員は、「保護者の皆さんが、集めていただいた660名のアンケート結果を軽視しているのか、この結果をどう受け止めているのか」と再質問し、当局の消極性を嘆いた。

また、病後児保育については、結成したばかりの新党派で視察した町田市での先進事例を提示し、「町田市では、病児保育施設、1か所、定員4名、病後児保育施設2か所、定員各4名ずつで14年度は、年間に1002名の利用があった。今後、町田市では、医師会との調整ができれば、あと何か所か開設したいとのこと。9歳未満の子ども数も豊田市の方が3,400人も多い。潜在的なニーズは高いはず」と述べ質問に入った。



●診療所併設型の病児保育室

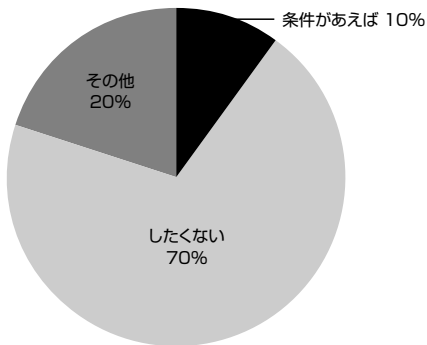
新政クラブは、特定政党や既成組織に立脚せず、市民の立場、市民の目線で考え、行動する無所属市民派議員として「いいものはいい、悪いものは悪い」と、はっきり主張する「健全な批判・提言勢力」を目指しています。

まず、「平成20年までに1か所開設予定の整備計画の進み具合」を質問し、そして、「町田市と同様の施設を豊田市で開設した場合、どのくらいの経費が必要なのか」質問した。これに対して、社会部長は、整備計画は「児童育成計画の中で明らかにする。費用の試算は、定員4名、職員2名の施設で事業費約700万円～1000万円と見込み、県補助の480万円の差額が豊田市の持ち出しとなる。」と答弁。実質的な経費は、1施設当たり500万円ほどである。豊田市の財政力から考えると十分可能であると誰でも思うのではないだろうか。

そして、岡田議員は、「私は早期に1か所開設し、その後、状況を見て4か所程度、設置すべきと考える。1か所目の開設年次はいつか。定員、施設数、その後の整備計画をどのように考えているのか。受け入れ対象も小学校低学年までとすべき」と発言。社会部長は、「開設は、平成20年度までに定員4名の施設を最低1園、市民意向調査の結果によっては、複数地域での実施も検討する」と答弁し、「受け入れ対象は、小学校低学年の児童も含める考え」を示した。

岡田議員は、最後にこう付け加えた。『開業医の皆さんへのアンケートでは、「保育施設を今後、開設したいと思いませんか」との質問には、「もう少し若ければやりました」という方、「条件があればやりたい」という方、「改めて検討したい」という方が、それぞれ1名ずつおられた。現在で

病後児保育施設を開設したい？



は、ファミリーサポートセンター事業として援助会員さんが、病気回復期のお子さんを預かる制度もある。しかし、実際は、自分の子どもに病気を移される心配や万が一の場合に責任が取れないなどの理由から預かることを躊躇した方もいる。病児・病後児、いずれの施設にしても、本来なら、そんな施設はいらない、お子さんの具合が悪いときは、会社・仕事を休むことができる環境を社会全体が作って

いくことこそ、本来あるべき姿。しかし、実際は、各企業も厳しい競争の中で、子どもがいるからといって配慮してくれる職場がまだまだ



●この日も4名のお子さんを預かる

だ少ないのが現実。そうした現実を直視し、きれい事ではなく、本当に困っている方々のために最低限のサポートをするのが、行政の役割である。どうか、多くの皆さんの切実な思いに耳を傾け、早期開設に向け努力いただきたい』と締めくくった。

そして、幼稚園、保育園の民間移管計画についても厳しく質問した。岡田議員は、豊田市の対応について「今後、応募法人がなかった場合、また、選定レベルになかった場合、移管はどうなるのか。また、仮に、移管条件である覚書が守られていなかったことが発覚したときには、市はどのように対応するのか」と質問。社会部長は、「予定した移管年次での移管は見送る。覚書が守られていなければ条件の遵守を催告し、違反状態が続くようであれば、土地及び建物の使用賃借契約等を解除する」と。

最後に「豊田市では、平成20年までに7つの幼稚園を、30年までにさらに3つの幼稚園を移管する計画。この移



●18年度移管予定の市立野見幼稚園

管計画に対する県の意向はどうか。」と質問したところ「平成17年度移管の2園については、了解いただいているが、18年以降はこれから」ということだ

った。それに対して、岡田議員が「18年以降はこれから協議という答弁であるが、市の計画があまりに性急で県が難色を示しているのではないか」と再度質問すると「今後、県及び保護者の意見を聞きながら進めていくのでご理解いただきたい」という逃げの答弁に終始した。

一般質問を傍聴するといつも思うことだが、毎回質問する岡田議員の実質15分という質問時間の短さや3回までという質問回数制限、あいまいな答弁、もう少し何とかならないものだろうか。消化不良が続いている。

# ここが聞きたい!議員?豊田市政?

Q 市議員の選挙が終わりましたが、議員の皆さんは、選挙でいったいどのくらいのお金を使っているんですか?

A どの選挙でもそうですが、選挙費用は、総額いくらまでと決まっています。それは、お金のある候補者が、有利にならないようにという考えからです。今回の豊田市議会議員選挙は、上限約556万円でした。また、お金のない候補者でも選挙に立候補しやすくするために選挙費用の一部を税金で負担する制度があります。これは、一定の得票数(今回は、約441票)をクリアすれば、選挙カーの費用やポスター印刷代等を負担していただくものです。私も別表1のように血税を使わせていただきました。

## ◆公費負担金 別表1

内容	公費負担金額	公費負担上限金額
選挙カー借上代	107,100	107,100
選挙カー運転手代	87,500	87,500
燃料代	12,433	51,450
選挙ハガキ郵送代	100,000	100,000
ポスター代	287,500	559,450
合計	594,533	905,500

そこで、各候補者が、どのくらいの選挙費用をかけたかということですが、私自身の選挙でいえば別表2の通りです。これは、応援いただいた皆さんが、全くのボランティアでご支援いただいた結果、これだけの費用ですんでいます。他の候補者が、どれだけ使ったかは、情報公開請求できますので興味のある方は、市政情報コーナーでご請求ください。

しかし、選挙以外に後援会活動として後援会入会リーフレットを作

成したり、その他の後援会活動もしていますので、それらもあわせて考える必要があります。ちなみにH14年のおかだ耕一後援会の支出総額は、985,196円です。(後援会報18号をご覧ください)

また、選挙時に陣中見舞いということで17名の皆さんからあわせて238,000円の浄財を頂戴しております。それらは、すべて後援会に寄附という形にさせていただきました。この場を借りてお礼、並びにご報告申し上げます。ありがとうございました。

## ◆別表2

内容	金額	備考
電話架設費	50,505	リース、工事費
選挙事務所借上料	746,550	
演説会場費	8,000	
通信費	39,346	電話代等
ポスター印刷	(287,500)	公費負担分 575枚
ポスター印刷	70,875	自己負担分 225枚
はがき印刷	52,500	4000枚
看板	159,600	選挙カー&事務所
新聞広告料	60,000	
文具費	43,234	両面テープ 他
食料費	39,420	食材費
雑費	49,142	電気&ガス含む
実質支出合計	1,319,172	

## 選挙戦の思い出



●宝来町内を支援者の皆さんと



●街頭にて政策を訴えるおかだ耕一候補



●皆さんの声援を受け事務所を出発



●ご支援ありがとうございました

おかだ耕一を支えるカンパは以下へお願いいたします

**UFJ銀行 豊田支店**  
(普通) 1113815  
**岡田耕一後援会**

なお、カンパいただいた方は  
通帳にはお名前しか表示されませんので、  
お礼を申しあげたいため、  
ご一報下さるようお願いいたします。  
お一人様、1口1,000円から  
10口まででお願いします。

市政に関する様々な疑問、質問、要望、情報等  
お気軽にお寄せください。

連絡先

TEL・FAX/88-9194 (岡田自宅)

(こーいち)

<http://www.ko1.org/>

E-mail: [okada@ko1.org](mailto:okada@ko1.org)

100%古紙再生紙を使用しています。 **R2100**